

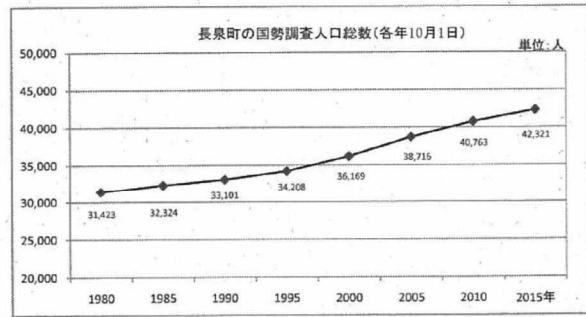
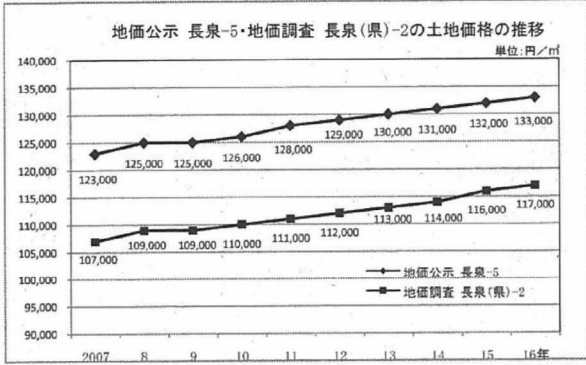
地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

<第26回>

世界不況時も地価上昇

リーマンショックによる世界的景気低迷の影響で、10年の地価公示は全国地価上昇地点がわずか6地点と、1970年の調査開始以来過去最低となった。そのうち2地点が静岡県東部、富士山の裾野に広がる当時人口約4万人の長泉町である。16年の地価公示、地価調査でも上昇を続けており(グラフ参照)、町内で人気の下土狩、中



温暖で企業進出盛ん

豊かな税収、子育て支援充実

医療費の無料化、第3子以降の保育料の無料化など、子育て支援策や町独自の教育支援策も多数あることから「子育てするなら長泉」と言われるようになり、町外からの子育て世帯の移住も多い。

最近では、首都圏の企業に新幹線通勤する「長泉都民」の移住も見られる。これらの結果から12年の合計特殊出生率では、1・99と全国の1・41と比較してかなり高く、少子化を克服した「奇跡の自治体」とも言われている。

また、02年に町内に開院した県立静岡がんセンターを中心に、長泉町は静岡県が進める健康長寿県の一翼も担っている。特にファルマバレープロジェクトとして長泉町と周辺市町に医療健康関連産業の集積をはかり、今年に入り町内に医薬品・医療機器の研究開発拠点として旧県立長泉高校の校舎を再利用した「静岡県医療健康産業研究開発センター」が開設され、テルモをはじめとする多数の医療関連企業が入居している。

さらに、新東名高速道「長泉沼津インター」周辺では、15年に延べ床面積約2・6万㎡の「イオン長泉ロジスティクスセンター」が進出するなど、新たな物流拠点としても注目されている。今後も長泉町から目が離せない。

(日本不動産研究所静岡支所、不動産鑑定士・鈴木隆史)

静岡県長泉町・人口が増え続ける「奇跡の自治体」

土狩、上土狩地区では坪50万円以上の宅地価格が多く、首都圏近郊のベッタタウンの地価に匹敵する水準である。長泉町は、温暖な気候や豊かな水資源(水道料金は全国一の安さ)にも恵まれ、またJR三島駅北口に隣接し、東京へは東海道新幹線のひかり利用で約45分、12年に開通した新東名高速道路「長泉沼津

インターチェンジ」を利用すると東京まで約1時間半と交通アクセスも優れている。このことから企業進出が盛んで、町内には東しなど大手

企業の工場も多数あり、さらに町内には3つの工業団地もある。また、豊かな税収を背景に30年以上も地方交付税不交付団体で、義務教育期間の

また、02年に町内に開院した県立静岡がんセンターを中心に、長泉町は静岡県が進める健康長寿県の一翼も担っている。特にファルマバレープロジェクトとして長泉町と周辺市町に医療健康関連産業の集積をはかり、今年に入り町内に医薬品・医療機器の研究開発拠点として旧県立長泉高校の校舎を再利用した「静岡県医療健康産業研究開発センター」が開設され、テルモをはじめとする多数の医療関連企業が入居している。



旧県立長泉高校の校舎を再利用した静岡県医療健康産業研究開発センター

02年開業の県立がんセンター

人口も15年国勢調査では4万2321人と、10年前の3万8716人から約9・3%増加した(グラフ参照)。将来推計人口についても30年まで増加傾向と言われており、今後の宅地不足も懸念されることから、町では市街化調整区域の一部市街化区域への転換も検討している。

健康長寿県の一翼担う